したかどうかは別であるが。

演者は、技術学の一環に扱われず、技として過程が、技術教育の構造に組み込れた推移を、かつて島津レントゲン技術講習所（京都放射線技術専門学校）に学んだ、古代に比せられるノートを基本に、今昔の技術教育の史像を述べたいと思う。

（高知県安芸市　森沢病院放射線科）

本邦における医学放射線技術教育の史的推移

今市正義

わが国の放射線技術教育は、医学の面において、陸海軍のいわゆるエックス放線操作技術が、軍部編集の看護教程に説述され、これによって器械・装置を下士官たちが操作していた。技術教育の範囲は、装置各部の名称・瓦斯エックス放線管球の取扱い方・現像薬品名と現像・定着両液の調製法の範囲にとどまり、撮影法は、医官の指示によったが、撮影部位の諸条件は、装置製作業者の指示表を、修正しながら自家のものとした。であるから門外不出的な傾向を執って、ある短時日を経過した。

公共の教育・診療の機関においても、技をきそうという江戸時代の職人芸は、瓦斯管球の存続する間は、わがもの顔に名工の座を固守した。当時の大学や総合病院におけるX線写真に、名人芸の作品が見られる。それが診断に寄与